

2021 年 JODA ナショナルチーム最終選考会 Race Committee から選手/支援者へのメッセージ

以下はいかなる規則も変更していません。
このとおりとならなくても、艇からのプロテストの根拠とはなりません。

◆本選考会のレース・マネジメントの基本的な考え方◆

全ての参加者の『安全』を最優先とし、『公正』『公平』で、『選手に判り易い』高品質なレース運営を目指します。

『安全』

天候変化への先手管理と、レース・マネジメント、ジュリー、支援艇、豊田自動織機海陽ヨットハーバーと協業でのセーフティ・マネジメント

『公正』

規則はもとより、World Sailing Standard に準拠したレース・マネジメント

『公平』

ターゲット・タイムに対応した十分な長さのレグ長設定で、計画 9 レース完全実施を目標

『選手に判り易い』

デイリー・ブリーフィングを通じた、選手・コーチとコミッティとの意思疎通促進

▶ 安全 : レースを実施する風速

【風速基準】

4Knt - 25Knt : Race Management Policies For IODA Events

【艇が出艇前】

海上風速が上記範囲外の場合、「D 旗」は掲揚しません。

【風速がレース海面全体で一定時間 4Knt を下回った場合】

規則 32.1(d)に基づき、**レースを中止する場合があります。**

レースの中止・続行は、フリート全体の艇速とレースの公平を考慮して決定します。

【風速がレース海面全体で一定時間 25Knt を上回った場合】

規則 32.1(d)に基づき、**いつでもレースを中止する場合があります。**

レースの中止・続行は、フリート全体の安全とレースの公平を考慮して決定します。

▶ 安全 : コミッティと支援艇とのレディオ・コミュニケーション

本選考会では、全ての支援艇にコミッティと共通チャンネル (デジタル無線機 1CH) を貸与します。貸与する無線機は傍受専用としますが(公示 17.5(v)), 以下の場合のみ発信を許可します。

- ① レースの継続に影響を及ぼす緊急事態が発生した場合
- ② 選手、支援者他、参加者の安全に危険が差し迫る様な緊急事態が発生した場合
(単なる沈艇発生はこれには含みません)

必要に応じて、コミッティから支援艇にアナウンスをする場合があります。

指示 19.5 で変更された規則 37 を適用した場合、レース委員会信号艇からの通告を基に、無線機のチャンネルを変更 (1CH → 3CH) した上で 送信を解禁します。

レース委員会信号艇、レスキュー艇、ジュリーボート、支援艇間でコミュニケーションを取りながら、艇の安全を確保していきます。

▶ 公正

本選考会は、World Sailing Standard に準拠して運営していきます。

[World Sailing Race Management Manual](#)

→ World Sailing HP にて参照することができます。

[IODA Race Management Policies](#)

→ IODA HP にて参照することができます。

これらの指針を最大限尊重して運営していきますが、本選考会を成立させるために「公正」が担保されることを前提にこれらの指針どおりとならない場合があります。

いずれにしても、これらの指針はセーリング競技規則の定義にある「規則」には該当しませんので、指針どおりとならない場合でも、抗議・救済の根拠とはなりません。

▶ 公平

ターゲット・タイムに対応した十分な長さのレグ長設定で、計画の 9 レース完全実施を目標としています。19 日から 21 日の 3 日間で各日 3 レースの実施を計画しています。

計画しているレースを完了させるため、3 月 20 日は最大 4 レースを実施する場合があります。(公示 9.2) 選手にコミッティの意図を明確に伝えるため、計画どおり 3 レースで終了する場合でも、フィニッシュ艇に「AP 旗+A 旗」を掲揚します。計画 3 レース終了後に 4 レース目を実施する場合、フィニッシュ艇に「AP 旗+A 旗」を掲揚しません。また無線機を通じて支援艇にコミッティの意図をアナウンスします。

▶ 選手に判り易い

3 月 19 日は 09:30 より、20 日、21 日は 09:00 より、大屋根下でソーシャルディスタンスを確保した上で、プリーフィングを実施します。コーチ・支援者からの意見も歓迎します。但し規則に関する問い合わせは、文書でお願いします。

プリーフィング以外で、レース委員会に対して依頼事項、問い合わせがある場合、公正と公平を担保するために大会 HP で入手できる"Request to Committee" に記入の上、提出下さい。回答はオンライン公式掲示板に掲示します。

◆ 効率的なレース進行に向けてのお願い ◆

レースが実施出来るコンディションである場合、レース委員会は可及的速やかに次のレースを実施します。フィニッシュした艇は、レース中の艇を回避して速やかにレース委員会信号艇に向かって下さい。

◆ 豊田自動織機 海陽ヨットハーバーの開門/閉門について ◆

大会期間中、豊田自動織機海陽ヨットハーバーのご協力により、開門時間を 08:00 から 07:45 に繰り上げます。閉門の定時時間は 17:00 ですが、レースやヒヤリングの状況により適宜延長いたします。撤収が可能となったチームは、速やかな閉門に協力をお願いいたします。

2021 年 3 月 18 日
2021 JODA ナショナルチーム最終選考会
Race Officer 伊藤 大貴